

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年10月27日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4675300208号
法人名	特定医療歩人 大進会
事業所名	グループホーム ぽっぽえん
所在地	鹿児島県始良市池島町26-6 (電話) 0995-65-3208
自己評価作成日	平成23年6月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年8月10日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・理念にもありますように、ご入居者お一人お一人の、今日に至るまでの背景と生き方、思いを尊重し、残存機能を生かした援助を心掛けております。
- ・ご家族や、地域の皆様とのつながりを大切に考え、居心地のよい、安心できる環境づくりに努めております。地域の活動には、出来る限り参加させて頂き交流をさせて頂いております。防災訓練や、運営推進会議において地域の皆様にご協力頂き、連携を深めさせて頂いております。
- ・職員の、質の向上を目指し、様々な研修会に参加させて頂いたり、法人内研修施設内研修にも取り組んでおります。
- ・医療との連携を図り、定期健診、定期受診、訪問看護、リハビリなど健康管理に努めております。
- ・畑での野菜作り、花飾りで、四季を感じていただけるよう努めております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

国道10号線、始良バイパスから少し入りこんだ住宅街に建つ、開設9年目のグループホームである。同系列の病院を母体に、他にも、老人保健施設、老人福祉施設、保育園を運営して地域の福祉事業の一端を担っている。

離職が少なく、利用者とのなじみの関係が構築されて、日常の職員の観察で個々の状況や思いを察知し質の高いサービスの提供がなされている。また、職員育成にも力を入れて、全員に役割を持たせるなど、プロの介護者としての自覚と責任感を養っている。グループホームの運営に重要なことは「モラル」と「倫理観」という管理者の理念をもとに、職員一人ひとりが責任を持って、真摯に業務に取り組んでいる。

利用者の健康管理においても母体病院と訪問看護ステーションとの医療連携体制が築かれて24時間オンコール体制で家族、夜勤帯の職員の安心に結びついている。

家庭的な環境と家族のような雰囲気の下、利用者が穏やかな日々を過ごしているグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を壁に掲げ、念頭に置き、ケアを検討する際、ご家族との関係、問題が起きた時、など、常に理念に立ち返り、検討するように努めております。	地域密着型サービスとしての意義を踏まえた理念を作成している。理念は玄関、ホールに掲示してパンフレットにも明記している。また、新年度時のホーム便りにも掲載し、家族等にも理念を発信している。職員会議等で振り返る機会もあり、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	池島自治会の一員として、サロン、夏祭り、文化祭など、出来る範囲で参加させて頂き、地域の子供たちも遊びに来てくれ、交流を図り防災訓練にも皆様の参加を頂いております。	地域の文化祭に作品を出展したり、生き生きサロンや敬老会に参加している。また、ホームの敬老会へも、地域の方々を招待している。小・中学生の職場体験や高校生・看護学校生の実習の受け入れも実施しており、子ども達との交流も積極的に行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の小学校、中学校のボランティア体験を受け入れ、警察学校の実習、看護学校の実習受け入れを行い、理解を深めてもらっています。地域の老人会との交流も図っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回の間隔で開催させて頂き、毎回テーマごとに意見を交換させていただいており、地域との交流や、グループホームへの関心をいただける様になってきました。	自治会長、民生委員、法人の苦情処理委員、家族、職員、行政などの参加を得て2ヶ月に1回開催している。ホームの状況報告、行事報告、事故報告、地域の高齢者情報、災害対策、安全対策などが話し合われてホームの良き理解者として、多方面からの意見やアドバイスなどもらいサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の報告書や、えんたよりを毎月お届けし、日々の取り組みをお伝えしております。また困りごとやわからない事など、その都度ご相談し、協力関係作りに努めています。	生活保護受給者もおおり、日頃より連携を図りながら、協力関係を築くように努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束については、十分に配慮を行い、職員の防止に向けての意識も高いですが、ベット上での体動が激しく、見守りが充分にできない時間帯におけるの安全対策において、拘束に近い体制をとらせて頂きたくご家族に了承を頂いた方がおられます。	定期的に法人全体で勉強会を行ない、拘束のないケアの実践に取り組んでいる。日中は施錠などせずに職員の連携で安全で自由な暮らしを支援している。外出傾向の利用者には職員がさりげなく着いて行き見守っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日常における虐待はないと云えますが、研修会や勉強会に参加することで、職員全体での意識の向上に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、制度を活用する状況にありませんが、研修会に参加することで、理解できるように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>制度が変わったり、契約内容に変化が生じた場合は、えん便りにおいて紹介したり、必要時はお知らせを発行し、心配な方には、個々に説明いたしております。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご意見を伺った際は、迅速に対応し、職員会議などで情報を共有しています。面会時は状況報告を行い、ご意見を伺ったり、声にならない声にも気付けるようお互い気を配らせていただいています。</p>	<p>日常の面会時や電話連絡時に、家族から意見、要望を聞き出すようにしている。出された意見、要望については職員全員で話し合っって運営に反映させている。利用者からは日常の会話の中やアンケートにより意見、要望を聞き出すようにしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員は、職員会議において、意見を反映させ、管理者は代表者に報告し、職員の意見に耳を傾けてもらっている。</p>	<p>職員間で共有すべき内容については連絡ノートの活用や、朝夕の申し送りを利用して利用者の情報の共有を図り、職員の気づきや意見・提案なども出せるようにしている。また、毎月の職員会議も全員参加で職員の意見・提案などを話し合う機会としている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員は管理者に個々の事情を伝える機会があり、それを勤務表に反映させてもらっている。職場環境作りにも、職員会議などを通じ、積極的に耳を傾けて頂き、管理者は代表者にその都度報告を行っている。</p>		

鹿児島県 グループホームぽっぽえん 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の研修を定期的に行っている。また、専門性の向上に加え、人間性の向上に向けた勉強もさせていただき、「職場の教養」などの配布も毎月して頂き購読することで教養の向上に努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会に参加し、情報交換に努めています。また、本年度は管理者が、グループホーム協会の役員をさせて頂いており、より緊密な情報交換をさせて頂いております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者の声にはその都度耳を傾け、一緒に考え、スキンシップを重ね、その都度申し送り、気持ちに寄り添えるよう関係作りに努めています。しかし声に出せない気持ちもあられると感じます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時など入居後の状況をお伝えし、またご家族からも日頃の様子など伺うようにしています。入居させたことを後ろめたく思っているご家族には安心して頂けるように、特に密な情報交換に務めております。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	自宅より入居してこられ、家が気になっておられる方は、一緒に家を見に行ったり、自宅近くでお弁当を食べやり、ご家族に頻回に連れて帰って頂いたり、本人の気持ちに寄り添うことを重ねました。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に行動する機会を作るよう努力し、一緒に考えるように思っていますが、まだまだ、介護を提供しているとの思いが優先していると思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の状況や思いを察し、ドライブをお勧めしたり、電話連絡を多くしていただいたり、一緒に差し入れを食べていただいたり、自宅に帰っていただいたり、夫々の対応をさせていただいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の気持ちを尊重し、高齢で重度の認知症の方ですが、妻の葬式に参加して頂きました。その後一時期、体調を崩されましたがご家族の話より、それでよかったですと思っています。	毎月、月刊誌を持って友人に会いに行くのを楽しみにしている利用者もおり、継続できるように支援している。また、地元出身者を地域のサロンに参加されるなどなじみの人や場との関係継続の支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	新しい入居者の部屋を住みやすく整える際、テレビを入れた所、他の入居者が頻回に出入りされ、会話が弾み、お互い支えあえる関係にまでなりました。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族関係の希薄な入居者が入院され、退所されましたが、ご家族に代わって荷物を届けたり、顔見せに行くことで、喜んで頂けるよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の思いや、希望に寄り添うように努めておりますが、現在悩んでいるケースの一つに、自室を歩きたい希望と自信があれれるも、転倒の危険性高く、リスクと思いの狭間にいます。	会話の中から思いや意向を把握し、本人本位に検討している。困難な場合は表情や言動、職員の観察で状況を把握するようにしている。また、アンケートを実施して「今年したいこと」「呼び名」「食べたいもの」「さみしく感じる時」などを聞き出し個々の思いや希望などを聞き出すように工夫している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の話や、ご家族よりの情報により、生活歴を伺う機会を作るようにしています。しかし、今の情報を提供することが優先していると思います。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々のモニタリングを行い、状況が変わるごとに、職員全体で検討を重ねている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族、主治医、理学療法士など、個々に応じて意見や考えをお聞きし、ケアプランに反映させるように努めています。最近では訪問看護師によるアドバイスが支援に活かされてきております。	本人、家族の思いや希望、職員の意見など反映した本人本位の介護計画を作成している。趣味（習字・サロン等）を活かした支援やなじみの関係継続の支援などを取り入れた介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録は、出来るだけ必要な状況を記録し、日々の申し送りで検討を重ね、連絡帳にて決まりごとなど伝えたり、目に見えるところに書いて、全職員がわかるよう努めています。それを介護計画に反映させてます。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族のご要望が、入居者の皆様にとって、大切と判断できることであつたら、その都度管理者に伺い対応しています。今しかできないことは、業務の工夫をしてでも、優先して行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	老人会の行事など、ご本人の気持ちに寄り添いつつ、参加できるように努めています。しかし、年々、人の中に入ることに抵抗をもたれるようになってきました。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による、定期受診を重ね、面会時など、ご家族に説明しています。緊急時はご家族の了承を頂いてから受診するようにしていますが、受診後にご報告することもあります。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。また、本人・家族の状況に応じて受診同行も行って、受診後は随時、家族に報告を行っている。訪問看護ステーションと医療連携体制が築かれており、利用者の健康管理が密に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>健康面の変化や気づきは、看護職員の判断による指示によって対応し、必要によっては、訪問看護師の判断によって対応しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入居者が入院された場合、看護師によるサマリを提出し、面会を重ねながら、病院職員から直接情報を頂いてきました。そうすることで、病院との連携を深めるよう努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末ケアの状態になられた場合、ご家族、訪問看護師、管理者、看護師、ケアマネによるカンファレンスを持ち、対応を検討しました。また主治医やPTの意見も取り入れ、ご本人にとって最も望ましい対応を目指しました。</p>	<p>看取りに関する指針は平成18年に作成した「医療連携の方針」の中に項目を設けている。重度化や終末期に向けた話し合いは利用者の身体状況に応じて行っており、職員も話し合いの結果については方針を共有して支援している。</p>	<p>事業所の対応力が変化することを意識して、指針の再確認を行い、また早い段階から本人・家族と話し合い、安心して納得できる最期が迎えられような支援・取り組みに期待したい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人内の研修、施設内の研修において緊急対応について学ぶ機会をもっていますが、緊急時は戸惑いも多く、訪問看護師によって支えてもらいました。それも経験につながっております。</p>		

鹿児島県 グループホームぽっぽえん 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の、地域を交えた防災訓練を重ねており、職員は、全員が対応できるよう、訓練を行っています。今回は地震災害に対する訓練も行い勉強になりました。	年2回昼夜間想定避難訓練を行っている。消防分団や近所の方々、職員の家族等も参加しており、地域との協力体制が築かれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	馴染みの関係にあって、声掛けが、馴れ合いになってきているかもしれない。また、トイレでの転倒を心配し、扉を開いての排泄を促したり、プライバシーへの配慮が足りない時がありました。	定期的に研修も行って、職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人に伺いながらの対応を心掛けていますが、日課については、流れの中で動いていただいていることがあるようです。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	健康面や本人の強いご意向に対しては尊重しています。日課については、入居者に伺いつつその時対応する事がおおいです。まだまだ業務を優先することも多いです。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人のお好みに応じて対応しています。中には、スカートを好んで着られたり、何回も着替える方もおられますが、職員にお任せの方も多くなってきました。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえは皆さんで参加しておられます。ゴマすりや、和え物作りなど、能力に応じて参加してもらっています。中には率先して作業され、生きがいにしておられます。	梅ちぎりやじゃがいも堀りなどの収穫を楽しんで、おやつ作りやジュース、梅干しづくりなど利用者と共にしている。また、らっきょうの皮むき、梅干しの選別なども手伝ってもらい、個々の能力を活かした支援を行っている。ときには、季節の花見で外でのお弁当を楽しむこともある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の好みに応じた飲み物を提供し、必要量を摂取できるよう声掛けをし、食材に対する咀嚼の対応など、その都度行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の状況に応じて口腔ケアを行い、記録に残しています。最近、磨き直しの必要な方も多くなりました。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄能力に応じて、夜間オムツ対応の方も、日中はトイレ誘導を行い、残存能力の維持に努めております。又、チェック表を用いて、個々に応じた排泄誘導を行っております。	排泄チェック表を作成して個々の排泄パターンを把握し、基本的にはトイレでの排泄を支援している。個々の身体状況に応じて夜間のみポータブルトイレ使用の利用者もいる。入居時、おむつ使用だった利用者もこまめなトイレ誘導でトイレでの排泄が可能になり、職員の喜びにも繋がっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に応じて飲み物の工夫を行い、体操もしていますが、薬に頼る便秘対策が中心になっており、今後の課題であります。		

鹿児島県 グループホームほっぼえん 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は曜日によって決まっておりますが、いつも同じ人が先にならないよう配慮しております。また、季節に応じて柚子湯やしょうぶ湯など工夫をしています。	希望があれば毎日の入浴も可能で、個々に応じた入浴の支援を行っている。入浴を嫌がる利用者には声かけやタイミングなど、工夫して入浴してもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	心地よい休息を取って頂くために室温調整や明るさに配慮しております。最近では、夜間不眠傾向の方への、眠剤服用を行っていますが、日勤の状態など、様々に検討を重ねています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	臨時薬が処方された場合は、副作用にも注意してます。排便コントロールについては、主治医と相談しながら日々調整して対応しています。誤薬のないように確認を2人で行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌の好きな人には音楽を、洗濯の好きな人は日課にして頂き、ドライブの好きな人は外出を多くするなど、出来る範囲で個々の対応をしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	職員が動ける範囲では対応しますが、ご家族との協力や、地域の皆様のご協力による外出は、実現していません。	日常的には散歩、買い物などで戸外に出かけられるように支援している。初詣、季節の花見や海岸へのドライブ、地域行事の見学等にも出かけて外出支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を所持し、使える方は3名です。ご本人用の仏壇の花を買いに行ったり、一緒に出掛けております。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人のご要望に応じてその都度対応していますが、あまりにも頻会にご要望があり、ご家族が困っておられるような場合は、ご家族と相談し、臨機応変な対応をしています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングには季節の花を飾り、季節を感じられる壁面作りを心掛けてます。室温も出来るだけご希望に応じて対応しますが、暑がりのひと、寒がりの人で意見が分かれる時もおおいです。最近はマッサージ器を設置し好評です。</p>	<p>共用空間は家庭的で、落ち着いた雰囲気がある。ソファ、ベンチを置き、利用者が好みの場所で過ごせるように配慮している。また、マッサージ機を設置して利用者がいつでも使用できるようにしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>個々に応じ居室で二人で過ごして頂いたり、ソファと一緒に腰掛け、馴染みの関係作りに配慮してます。また、テレビを持ち込まれ、他者を招く方もおられます。</p>		

鹿児島県 グループホームぽっぽえん 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人やご家族のご希望に応じ、できるだけ馴染みのものを使って頂いています。中には多く持ち込まれ、引き取っていただいた方もおられます。	本人、家族と相談しながら、テレビ、ラジオ、仏壇、こたつ、時計などが持ち込まれ居心地良く過ごせるように工夫している。和室とフローリングの居室があり、和室の飾棚にはお気に入りの置物や写真、飾り物が置かれている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ベランダには段差があり、1階に下りるには急な階段があり、自立した生活を送っていただくには、見守りが欠かせない状況にあります。	/	/



V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームぽっぽえん 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームぽっぽえん 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
		BH HB	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない